

平成20(2008)年度

# 私たちの村の予算

～ 村民との協働のむらづくりを目指して ～



佐井村

## 平成20年度は、こんな事業を進めます

1. 公共施設下水道接続工事（矢越地区生活改善センター他、4施設）
2. 佐井村消防センター建設工事（20年度完成）
3. 住民提案型支援事業（むらづくり基本条例関連事業）
4. 佐井村保育所建設に係る調査設計業務（21年度建設・完成）
5. 少子化対策事業（妊婦健診無料回数の拡大及び乳幼児医療対象範囲の拡大）
6. 患者送迎バス運行事業
7. 水産振興事業（佐井村漁業協同組合への補助）
8. 漁港整備事業（福浦漁港ケーソン設置工事、牛滝漁港沖防波堤工事）
9. 漁港管理事業（矢越漁港荷捌施設周辺舗装工事）
10. 港湾整備事業（仏ヶ浦港湾沖防波堤工事）
11. サル・カモシカ食害対策（追い払い作業）
12. 夏祭り花火大会開催（事業実施団体への補助）
13. 外国語指導助手「ALT」招致事業
14. 福浦小中学校校舎外壁塗装工事
15. 牛滝小中学校校舎耐震補強工事
16. 佐井中学校校舎大規模改造事業（障がい児対策）
17. 古佐井地区下水道整備工事

## データで見る佐井村の予算

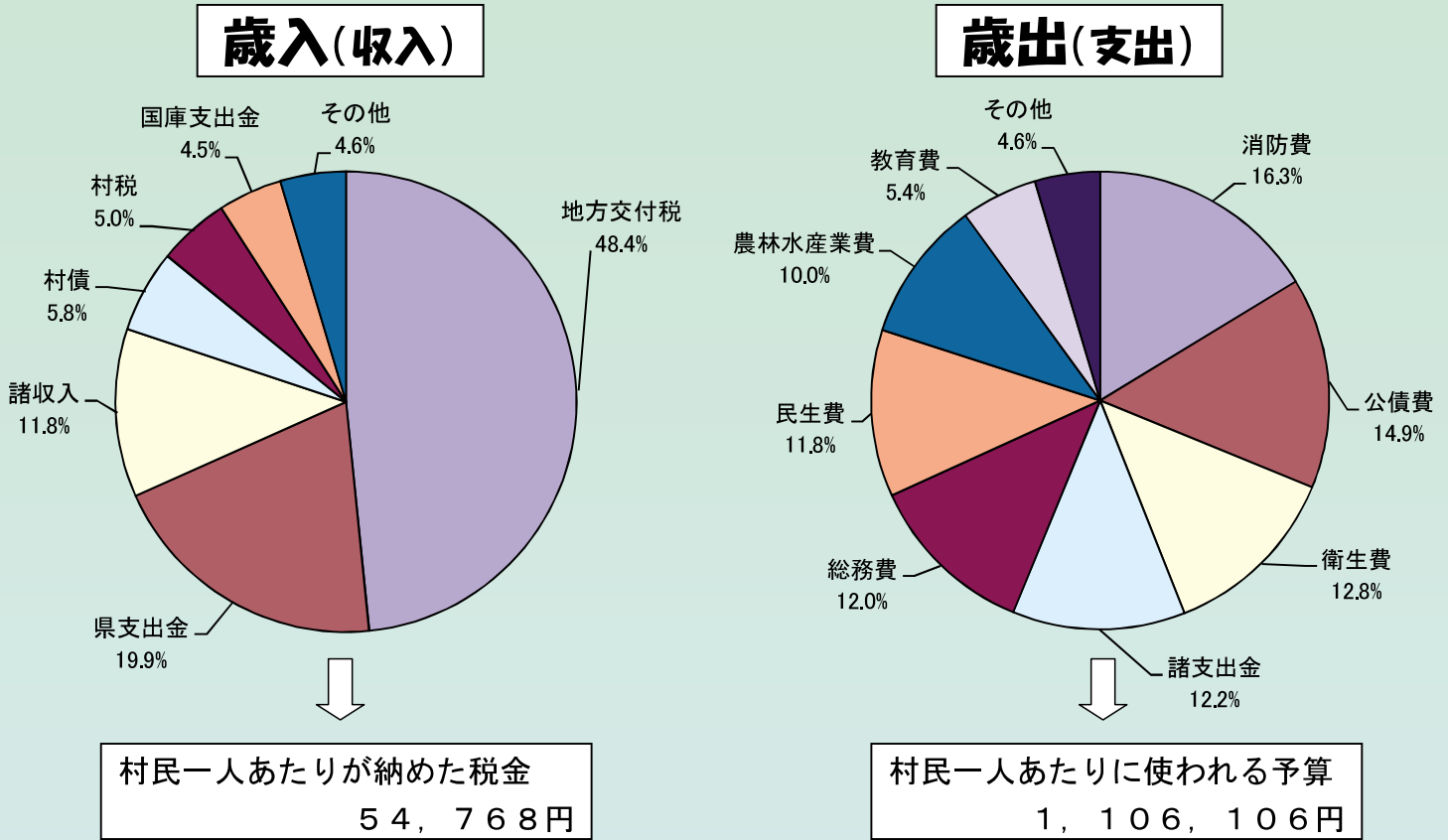
平成20年度の予算総額は、

**41億3,439万1千円** です。

区 分	20年度予算額	19年度予算額	増減額	
一 般 会 計	29億2,454万3千円	24億 627万7千円	5億1,826万6千円	
特 別 会 計	簡易水道事業	1億5,177万6千円	1億2,893万7千円	2,283万9千円
	下水道事業	2億2,890万2千円	2億3,622万3千円	△732万1千円
	国民健康保険事業	4億3,391万6千円	4億5,045万9千円	△1,654万3千円
	老人保健	4,493万1千円	3億7,666万5千円	△3億3,173万4千円
	介護保険	3億2,065万3千円	2億3,024万0千円	9,041万3千円
	後期高齢者医療	2,967万0千円	0千円	2,967万0千円
合 計	41億3,439万1千円	38億2,880万1千円	3億 559万0千円	

# 一般会計

一般会計は、村の予算の中心となるもので、福祉、教育、道路、漁港の整備などのお金は、この財布から出し入れしています。

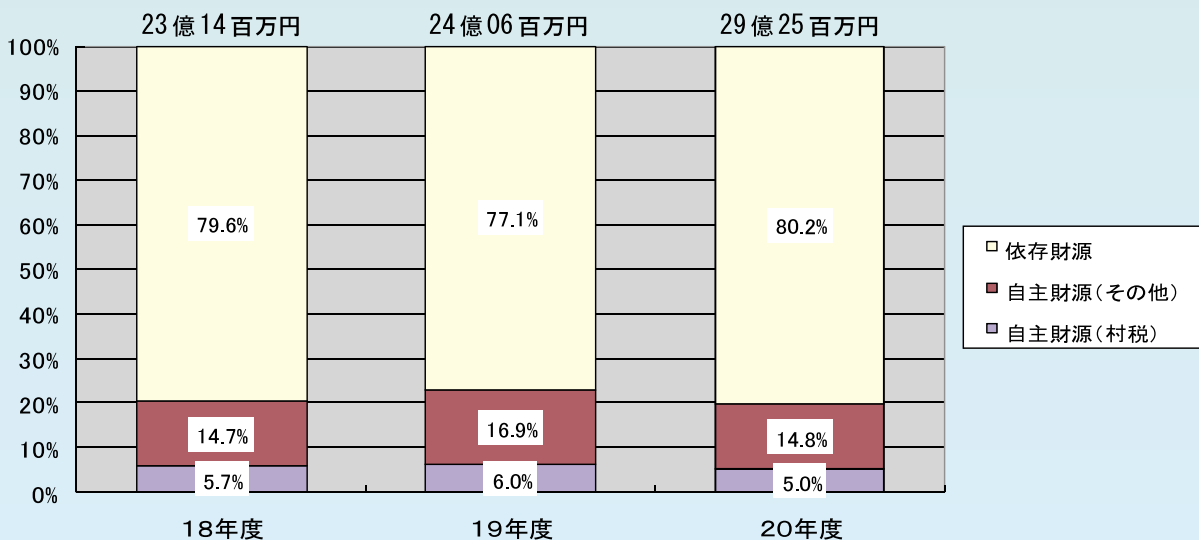


※平成20年3月1日現在の住基人口(2,644人)で算出

## ◇自主財源と依存財源

村の歳入(=収入)のより所を財源といい、このうち税金のように村が自分で集めるものを自主財源、国や県からもらう補助金などを依存財源といいます。

自主財源の割合が高ければ、それだけ自主的、安定的に事業が進められますが、人口が減少傾向にあり、大きな企業がない当村にとっては、自主財源の確保が課題となっています。



# 特別会計

村には、一般会計のほかに、特別会計があります。

特別会計は、決まった仕事について、財布を別にしてお金の出し入れをはっきりさせるもので、次の6つの特別会計があります。

## 簡易水道事業特別会計

1億5,177万6千円

住民の日常生活に欠くことのできない水道について、4地区(佐井、長後、福浦、牛滝)の簡易水道施設の適正な維持管理に努め、安定した飲料水の供給に努めていきます。

### 歳入

水道使用料等	4,265万5千円
一般会計からの繰入金	5,182万1千円
借入金(村債)	5,730万0千円

### 歳出

施設の維持管理費等	2,385万3千円
借入金の返済(公債費)	1億2,772万3千円
その他	20万0千円

### 業務の予定量

給水戸数	1,229戸
年間総配水量	32万4,298m <sup>3</sup>
1m <sup>3</sup> の水の給水に要した経費(給水原価)	549.28円
1m <sup>3</sup> の水の供給に要した経費(供給単価)	184.05円



## 下水道事業特別会計

2億2,890万2千円

生活雑排水等の河川、海などへの流入による水質悪化を防ぎ、側溝や水路の改善による衛生的な住環境、水洗化による清潔で快適な生活スタイルを進め、美しく豊かな自然を守り、潤いのある快適な生活を創造するため、下水道施設の維持管理(5施設)、下水道管布設などの事業を進めていきます。

### 歳入

下水道使用料等	952万6千円
一般会計からの繰入金	6,414万1千円
国や県からの補助	4,900万0千円
借入金(村債)	1億0,210万0千円
その他	413万5千円

### 歳出

施設の維持管理費等	3,384万6千円
事業費(管渠の工事)	1億0,664万1千円
借入金の返済(公債費)	8,801万5千円
その他	40万0千円

### 整備の状況

- 牛滝地区漁業集落排水処理事業
  - 平成9年供用開始 加入率 93% (H20.2末)
- 福浦地区漁業集落排水処理事業
  - 平成13年供用開始 加入率 85% (H20.2末)
- 長後地区漁業集落排水処理事業
  - 平成14年供用開始 加入率 53% (H20.2末)
- 磯谷地区漁業集落排水処理事業
  - 平成17年供用開始 加入率 48% (H20.2末)
- 佐井地区特定環境保全公共下水道事業 ……下水道管布設工事(古佐井地区) L=1,200m、他
  - 平成19年一部供用開始 加入率 16% (H20.2末)



古佐井地区の  
下水道整備を進めます

### 国民健康保険事業特別会計

4億3,391万6千円

病気やケガのときに必要な保険給付などを通して、みなさんの健康を支える制度です。

#### 歳入

国民健康保険税	1億2,873万9千円
県や国からの補助	1億5,093万0千円
高額医療費共同事業交付金	5,143万8千円
前期高齢者交付金	5,283万8千円
一般会計からの繰入金	3,739万4千円
その他	1,257万7千円

#### 歳出

保険給付費	2億6,318万0千円
後期高齢者支援金等	5,288万3千円
老人保健拠出金	1,087万4千円
介護納付金	2,291万7千円
共同事業拠出金	6,430万1千円
その他	1,976万1千円



### 老人保健特別会計

4,493万1千円

高齢者の方がお医者さんにかかるときの負担を軽くし、安心して医療を受けられるようにするための制度です。

#### 歳入

支払基金交付金	2,261万3千円
国や県からの補助	1,859万4千円
一般会計からの繰入金	371万9千円
その他	5千円

#### 歳出

医療給付費等	4,492万6千円
その他	5千円



### 介護保険特別会計

3億2,065万3千円

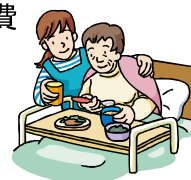
40歳以上の方が被保険者となって保険料を納め、介護が必要となったときには、介護予防サービスや介護サービスを利用できるように保険給付等を行うものです。

#### 歳入

保険料	3,431万3千円
国や県からの補助	1億2,630万6千円
支払基金交付金	9,422万7千円
一般会計からの繰入金	6,469万3千円
その他	111万4千円

#### 歳出

保険給付費	3億0,252万3千円
地域支援事業費	503万4千円
その他	1,309万6千円



### 後期高齢者医療特別会計

2,967万0千円

後期高齢者(75歳以上)のための新しい医療保険制度を設置し、後期高齢者の医療費について、国民健康保険制度とは別建ての制度とすることで効率化を進め、負担の公平化を図る新たな制度です。


#### 歳入

保険料	1,392万3千円
一般会計からの繰入金	1,549万5千円
その他	252千円

#### 歳出

広域連合納付金	2,425万2千円
その他	541万8千円



<p><b>議会費</b> 4, 206万円 (うち人件費: 4, 006万円)</p> <p>○村議会議員(8人)への報酬・手当等 2, 735万円 ○議会だよりの発行 22万円</p>	<p>【20年度人件費削減の取組み】</p> <p>□議員 月額10%+期末手当5%削減 □削減額 一人当たり平均年額約37万円</p>	 <p>常任委員会視察</p>
--	--	--

<p><b>総務費</b> 3億5, 190万円 (うち人件費: 1億7, 721万円)</p>	<p>【20年度人件費削減の取組み -その1-】</p> <p>□村長 給料30%+期末手当5%削減 □削減額 年額約348万円</p>
--	--

**広報広聴活動の推進**

- 広報「さい」の発行 111万円  
 ※4月から村公式ホームページをリニューアルし、  
 広報広聴機能の強化を図ります。

**村有財産の管理**

- 各地区集会施設の維持管理費 320万円  
 ○各集会施設下水道接続工事 1, 596万円  
 ※本村地区の下水道が19年度から一部供用開始した  
 ことにより、公共施設の下水道接続工事を行います。



**むらづくり基本条例関連事業**

- 住民提案型支援事業補助金 200万円  
 ※住民自らが創意工夫し企画・実践するむらづくり事業を実施する団体等へ、一事業につき20万円を限度として事業費の一部を助成します。

**交通対策**

- 生活路線維持費補助金 225万円  
 ※下北交通(株)のむつ・佐井線、長後線、川目線の運行経費の赤字分に対して路線維持のための補助を行います。
- 過疎地有償運送事業運営補助金 33万円  
 ※ボランティア輸送事業の運営主体である社会福祉協議会へ事業運営費の補助を行います。

**原子力発電の安全性に対する理解の推進**

- 「さいのこよみ」印刷製本費 36万円  
 ○「広報さい」綴込ファイル作成費 39万円  
 ○小学生等に対する施設見学会 47万円  
 ○一般住民先例地視察研修 137万円

**役場出張所の設置**

- 牛滝出張所の運営費 13万円

**交通安全対策**

- カーブミラーの設置 7万円  
 ○交通安全母の会助成金 16万円  
 ※母の会の各種活動に対する活動経費への助成を行います。

**コミュニティ活動の推進**

- 行政連絡員・補助員への報酬 156万円  
 ○地区会・町内会への補助金 139万円  
 ※コミュニティ団体である地区会・町内会の各種活動に対する活動経費への助成を行います。

**行政の効率化、データの収集・管理**

- 総合行政システムの管理 2, 203万円  
 ※住民記録、村税賦課徴収の処理等を行います。
- 介護保険システムの管理 334万円
- 村税システムの管理 819万円  
 ※住民税、固定資産税の法改正に伴いシステム改修を行います。
- 住民基本台帳ネットワークシステムの管理 285万円

- 各種統計調査事業 152万円

**村税の徴収率の向上**

- 納税組合に対する報償金 111万円  
 ※村税の徴収率向上のため、各納税組合の徴収額等に応じて、報償金の支払を行います。
- 納税貯蓄組合連合会運営補助金 20万円  
 ※納税に関する理解の醸成及び会の活動経費に対する補助を行います。

**選挙事業**

- 402万円  
 ○村農業委員会委員選挙、海区漁業調整委員会委員選挙などが予定されています。

**民生費**

3億4,591万円

(うち人件費：8,106万円)

【20年度人件費削減の取組み -その2-】

- 教育長 給料20%+期末手当5%削減
- 削減額 年額約176万円

**施設や制度の整備**

- 社会福祉協議会運営補助金 1,053万円  
※法人運営のための事務的な経費(人件費2名分を含む)に対する補助を行います。
- 高齢者生活福祉センター管理運営委託 928万円  
※社会福祉協議会へ「あすなろ」の管理運営委託(人件費1名分を含む)を行います。

**高齢者への福祉**

- 福祉活動専門員設置事業 367万円  
※専門員設置に係る社会福祉協議会への人件費(1名分)に対する補助を行います。
- ほのぼのコミュニティ21推進事業 496万円  
※事業に係る社会福祉協議会への人件費(1名分)に対する補助を行います。
- 老人クラブへの補助 87万円
- 敬老会の開催 47万円
- 高齢者の施設支援 424万円  
※養護老人ホームなどの施設へ入所している高齢者の支援を行います。

**障がい者への福祉**

- 障がい者の施設支援 3,861万円  
※施設入所している障がい者の支援などを行います。
- 障がい者の在宅支援 475万円  
※短期入所、デイサービス、居宅介護、グループホームなどの在宅障がい者の支援を行います。
- 障がい者の医療費給付・生活支援 256万円  
※医療費や補装具の給付などを行います。
- 重度心身障がい者への医療費給付 738万円

**青少年・児童への福祉**

- ひとり親家庭等への医療費助成 120万円
- 児童手当・遺児手当の支給 1,465万円
- 保育所運営事業 5,199万円
- 保育所整備事業 2,364万円



現在の保育所は昭和43年に建設され施設の老朽化が著しいため、より良い環境での保育を実現するため、21年度の施設完成を目指し、整備を進めていきます。

**衛生費**

3億7,460万円

(うち人件費：3,393万円)

【20年度人件費削減の取組み -その3-】

- 課長級 給料2%+期末手当3%削減+管理職手当凍結
- 削減額 一人当たり平均年額約69万円

**保健対策の充実**

- 患者輸送事業 1,215万円  
※佐井診療所内科部門の廃止により、大間病院及び川内病院までの交通手段を確保するため、患者送迎バスの運行委託を行います。
- 各種予防接種の実施 225万円
- 乳幼児健診事業 52万円  
※1歳6ヶ月児・3歳児健康診査事業などを行います。

**【子育て支援対策の強化】**

- 乳幼児はつらつ育成事業 315万円  
※乳幼児医療費の助成範囲を拡大します。  
未就学児については、入院・通院とも医療費助成の対象となり、基本的には無料となります。
- 妊婦委託健診事業 109万円  
※妊婦健診の無料回数が拡大します。  
妊婦健診については、無料回数が5回から14回に拡充します。

- 各種健(検)診の実施 584万円  
※基本健康診査、がん検診、健診結果説明会などを行います。

**環境保全・環境衛生への取組み**

- 側溝の清掃 27万円  
※側溝等の清掃後に散布する薬剤の配布を全戸に対して行います。
- 佐井村斎場の運営 367万円  
※佐井村斎場の維持運営を指定管理者に委託します。

**ごみ・し尿の収集処理**

- 環境保全美化の推進 309万円  
※ごみの分別収集による指定ゴミ袋の制作、販売店への取扱委託を行います。
- ごみ収集・処理 1億1,258万円  
※一般ごみの収集運搬や共同で設置している塵芥処理施設の運営負担に要する費用です。
- 不燃物処理施設の管理運営 683万円  
※施設閉鎖した不燃物処理施設の適正な管理を行います。
- し尿処理 3,145万円  
※共同で設置している汚泥再処理センターの運営負担に要する経費です。

**農林水産業費** 2億9,195万円  
(うち人件費: 1,831万円)

**農業の振興**

- 原田中山間地域等直接支払交付金 126万円
- 家畜導入事業 94万円
- 公共牧場管理委託 210万円

**林業の振興**

- 森林整備地域活動支援事業 193万円  
※人工林の所有界の確認、区域界の刈り払いなどの作業、施業箇所までの既設の作業道の補修や歩道の新設を行います。
- 有害鳥獣駆除対策 403万円  
※主にサルの追い払い対策に要する費用です。

**水産業の振興**

- 大型クラゲ被害対策 68万円  
※大型クラゲによる漁網の被害を受けた漁業者の設備投資に伴う借入金に対して利子補給を行います。
- トド被害対策 23万円  
※トドへの威嚇及び駆除行為を行い、漁業者への被害を最小限に抑える事業を行います。
- 水産振興事業補助金 3,106万円  
※漁協が行う水産振興事業に対する補助を行います。
- 漁場環境美化活動推進事業 20万円  
※漁業者が主体となった村内一斉に行う海岸・漁港内の清掃作業に要する費用です。
- 漁民の森づくり活動推進事業 50万円

【20年度人件費削減の取組み -その4-】

- 課長補佐級 給料2%+期末手当3%削減
- 削減額 一人当たり平均年額約29万円

**水産基盤の整備**

- 福浦漁港の整備 2億0,122万円

【事業概要】

- ケーソン1函設置
- 船揚場調査設計業務

【完成予定】

平成23年度



福浦漁港第2東防波堤

- 牛滝漁港整備負担金 2,500万円



牛滝漁港全景

※県管理漁港の整備負担金として、事業費2億5千万円の1割負担に要する費用です。

- 矢越漁港荷捌施設周辺整備 50万円

※施設周辺の舗装工事の事業費150万円の3割負担に要する費用です。



漁業者の利便性の向上に努めます

**商工費** 4,498万円  
(うち人件費: 1,119万円)

**商工業の振興**

- 商工会への補助 199万円  
※主に事務局職員の人件費補助に要する費用です。
- 夏まつりイベント補助 (花火大会) 50万円



**観光の振興**

- 観光施設の整備 135万円



多くの観光客で賑わいを見せるアルサス

※願掛公園駐車場の柵塗装工事とアルサスへ観光案内板の設置を行います。

【20年度人件費削減の取組み -その5-】

- 係長級 給料2%+期末手当3%削減
- 削減額 一人当たり平均年額約17万円

- 仏ヶ浦ライトアップ事業 202万円

※事業主体の観光協会への補助を行います。宿泊施設等の連携による観光客の増加を図ります。



幻想的な風景をかもし出す奇岩

- 観光協会への補助 329万円

※主に事務局職員の人件費補助に要する費用です。

- 福浦の歌舞伎食談義 131万円

- 下北観光協議会への事業費負担 106万円

※広域観光の確立を目指し、むつ下北地域の各市町村が共同で行う各種観光事業に対する負担金に要する費用です。



## 土木費

3, 690万円

(うち人件費：1, 303万円)

【20年度人件費削減の取組み -その6-】

□主事級 給料2%+期末手当3%削減

□削減額 一人当たり平均年額約10万円

### 道路の整備

#### ○橋梁点検業務

341万円

※橋梁の耐久性等に関する調査点検を行い、補修計画を策定し、事故の未然防止に努めます。



村道には  
17ヶ所の橋梁があります

#### ○除排雪対策

621万円

#### ○道路維持管理業務

156万円

※村道の維持補修並びに併用林道の維持補修を行い、道路の維持管理に努めます。

### 急傾斜地対策

#### ○磯谷区域急傾斜地対策事業負担金 150万円

※磯谷区域の急傾斜地対策事業に着手します。今年度は調査設計業務を主に行い、5ヶ年での整備を予定しています。



整備から30数年経過し、一部箇所  
の崩落等が見られます

#### ○原田区域急傾斜地対策事業負担金 300万円

※原田区域の急傾斜地対策に着手します。

### 港湾の整備

#### ○仏ヶ浦港湾改修事業

625万円

※整備事業負担金として事業費5千万円の12.5%負担に要する費用です。離岸堤の整備を進めます。



仏ヶ浦港湾

### 住宅の整備

#### ○村営住宅の維持

15万円

※村営住宅の適正な維持管理に努めます。



古佐井村営住宅



大佐井村営住宅

## 消防費

4億7, 632万円

(うち人件費：1億4, 142万円)

【20年度人件費削減の取組み -その7-】

□医療職 給料2%+期末手当3%削減

□削減額 一人当たり平均年額約17万円

### 消防への負担金

#### ○広域事務組合常備消防へ 6, 799万円

※市町村共同で行っている消防分署の費用負担。

#### ○広域事務組合非常備消防へ 1, 860万円

※佐井村内の消防団のための費用負担。

### セーフティネット体制の整備

#### ○AED(半自動除細動器)購入 299万円

※初動体制の整備を図り、救命率の向上を図るため、各公共施設へAEDを設置します。



### 消防施設の整備

#### ○佐井村消防センター整備 3億8, 494万円

※昨年度に引続き消防分署の移転・建設を行います。平成21年3月には完成する予定です。



佐井村消防センター  
外観図



建設予定地

### 防災対策

#### ○防災訓練の実施

14万円

**教育費** 1億5,802万円  
(うち人件費:7,014万円)

【20年度人件費削減の取組み -その7-】  
□技能職 給料2%+期末手当3%削減  
□削減額 一人当たり平均年額約21万円

**学校教育・学校施設の充実**

- スクールバスの運行 221万円
- 外国語指導助手(ALT)の配置 469万円  
※管内の小中学校の総合学習等の時間を活用し、異文化交流や英語への親しみを持ってもらうため、ALTを配置します。
- スクールサポーターの配置 92万円  
※車いす児童等の介助や地域の情報提供、特技や専門性を生かした支援などを行うため、佐井小学校にスクールサポーターを配置します。
- 各種大会派遣費の助成 155万円  
※管内小中学生の各種大会への参加派遣費への助成を行います。
- 奨学資金の貸付 1,218万円  
※高等学校、大学等への進学者に対する学費負担の軽減を図るため、奨学資金の貸付を行います。  
また、現在の貸付金の原資は、これまでの奨学生の返還金によって賄われています。
- 教員住宅の整備 93万円  
※教員住宅の老朽化による維持補修工事を行います。
- 牛滝小中学校耐震補強工事 1,252万円  
※現校舎(昭和51年度建設)が現行の耐震基準を満たさないことから、校舎の耐震性を高めるための改修を行います。
- 福浦小中学校校舎外壁塗装工事 903万円  
※校舎の適正な維持管理に努めるため、外壁の塗装工事を行います。
- 佐井中学校校舎大規模改造事業 676万円



牛滝小中学校



佐井中学校

※車いす生徒が日常の学校生活をするための環境整備(手摺り設置やトイレ改修など)工事を行います。

**社会教育の充実**

- 社会教育関係団体への補助 11万円  
※子ども会育成連合会、連合PTA、婦人会などへの補助を行います。
- 赤十字の里づくり推進事業 168万円  
※普及啓発活動のため生家の一般公開を行います。  
19年度は、述べ約1千人の入館者がありました。
- 放課後子どもプラン事業 208万円  
※放課後に小学校の空教室を活用し、地域住民の協力の下、子どもたちと一緒に勉強やスポーツなどの交流活動の行うため、放課後子ども教室を開設します。



三上剛太郎生家

**公民館活動の充実**

- 地区総合学級の開設 23万円
- 成人式の開催 17万円

20年度の  
新成人は39名です



19年度の成人式

**文化財の保護**

- 郷土芸能発表会の開催 47万円  
※今年度は「佐井村郷土芸能発表会」が開催されます。
- 海峡ミュージアム運営事業 75万円

**社会体育の振興**

- スポーツ団体への補助 179万円  
※体育協会や県民駅伝実行委員会への補助金です。



昨年の選手の皆さん

**諸支出金** 3億5,772万円

**下北医療センター支出金**

- 佐井診療所の不良債務解消 4,000万円  
※これまでの診療所の累積債務約2億3千万円の解消に、今年度から6年かけて取り組みます。

今年度からは、歯科部門のみの診療運営となります。

- 医療センターへの貸付金



佐井診療所

2億7,210万円

※医療センターの資金繰り経費の一部の貸付に要する経費です。

# 佐井村の台所事情

## ～ 県内40市町村中のテータ・ランキング(19年度) ～

村の台所事情をあらわす「財政指標」には、様々なものがありますが、代表的で比較的わかりやすいものを示しました。

順位は県内の40市町村のうちで、佐井村がどの位置にあるかという目安を示したもので、優劣を比較するものではありません。

### 財政力指数 0.113 (39位/40市町村)

通常確保できると考えられる収入

標準的な仕事をするのに必要と見込まれる支出 (過去3年間の平均)

村の懐ぐあいを表すもので、「1」を超える場合には、国からの援助(普通交付税といい、国の税金の一部を収入が不足する自治体に割り振るものです)がなくなります。また、数字が大きいくほど余裕があることとなります。

1	六ヶ所村	1.913
2	東通村	0.654
3	八戸市	0.644
4	青森市	0.599
5	弘前市	0.501
~~~~~		
37	新郷村	0.146
38	風間浦村	0.119
39	佐井村	0.113
40	西目屋村	0.110
平均		0.447

1	六ヶ所村	5.3
2	六戸町	12.0
3	東北町	13.9
~~~~~		
34	佐井村	23.1
35	黒石市	23.7
36	東通村	24.1
37	深浦町	25.7
38	西目屋村	25.9
39	田子町	26.1
40	田舎館村	26.5
平均		17.7

### 実質公債費比率 23.1 (34位/40市町村)

一般会計と特別会計などの公債費 (毎年返済しなければならない借入金の元金と利子)

標準財政規模から普通交付税の需要額に算入された元利償還金を差し引いた額

村の借金の返済額の財政負担の度合いを示すもので、率の低い方が財政負担が低いこととなります。この比率が18%未満の自治体は起債の発行に関し協議団体として自由に発行できるのに対し、18%以上の自治体は許可団体として県の許可が必要となります。また、25%を超えると原則として起債の発行が制限されます。

### 経常収支比率 96.6 (28位/40市町村)

経常的経費 (毎年欠かさず必要となる支出)

経常一般財源 (使い道が限定されていない毎年繰り返して入ってくるもの)  
+ 減税補てん債及び臨時財政対策債

人件費や公債費、扶助費(福祉施設の入所に伴う費用など)等、毎年必要になる支出で、容易に切り詰めることが難しいものの割合のことです。低い方がそれだけ余裕があり、新たなサービスをはじめたり、臨時の出費に対応できるということとなります。

1	東通村	64.0
2	六ヶ所村	75.8
3	六戸町	83.4
4	平内町	87.8
5	八戸市	88.5
~~~~~		
28	佐井村	96.6
29	中泊町	96.7
30	蓬田村	97.0
~~~~~		
39	むつ市	102.8
40	西目屋村	105.2
平均		92.2



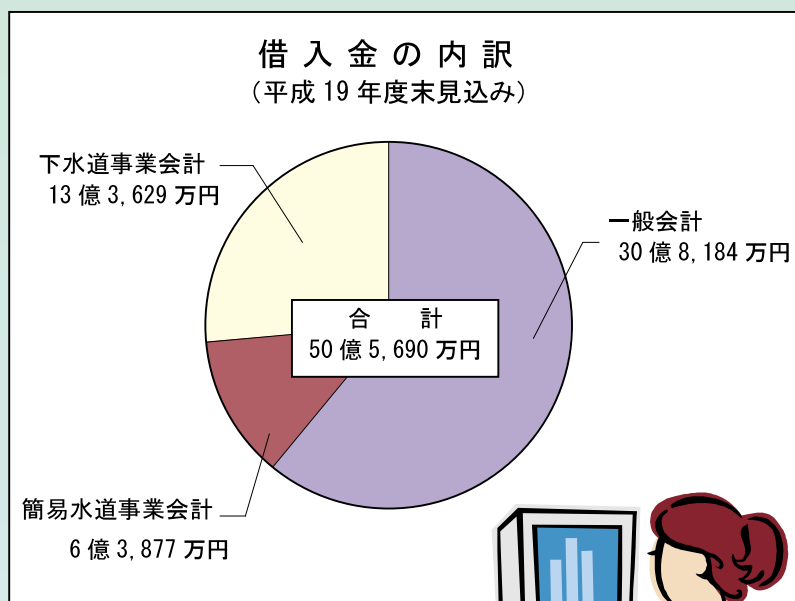
### 佐井村の借金の状況は？

平成19年度末の見込みで、一般会計をはじめすべての会計を合わせて約50億円の借入れがあります。村民一人あたりでは約191万円になります。

借入れの内訳は下の図のとおりですが、実際はこれに利子を加えた金額を分割払い（10～30年間）で返済していくことになります。

公共施設や下水道施設のように建設にたくさんの費用がかかり、しかも、何十年も利用されるものは、もし借金をしないとすれば、当座の資金繰りが難しいだけでなく、建設時に住んでいる村民だけが大きな負担をすることになってしまいます。

そこで、一般の住宅ローンと同じように借入れを利用し、毎年少しずつ返済していくことによって、将来にわたってその施設を利用する村民の負担を分かち合うようにしています。



### 貯金の状況は？

平成19年度末の見込みで、約7億6千万円の貯金がありますが、このうち大半を占めるのが水産振興基金の約6億3千万円で、この基金は原則として元金の取り崩しができないものとなっています。

貯金の内訳 (平成19年度末見込み)	
貯金の種類	金額
財政調整基金	5,107万円
村債管理基金	6,810万円
水産振興基金	63,932万円
その他の基金	489万円
計	76,338万円

### — 20年度予算の特徴 —

今年度の予算は、少子化対策及び教育環境の整備、消防施設の整備に主眼を置いた内容となっています。

少子化対策としては、**乳幼児医療の未就学児前までの入院・通院を原則として無料とした他、妊婦健診の無料回数を5回から14回へ拡充**しました。また、より良い環境での保育を実施するため、**今年度から2ヶ年事業で保育所の建設事業に着手**します。一方、教育環境の整備として、牛滝小中学校の耐震補強工事をはじめ、福浦小中学校校舎の外壁塗装、障がい児対策としての佐井中学校大規模改造事業を予定しています。更に消防施設の整備では、長年、建設が待たれた消防センターについて、平成21年3月の完成を目指し庁舎建設に着手し、消防防災体制の強化に取り組みます。

また、昨年7月に施行された**“佐井村むらづくり基本条例”の関連事業として、住民との協働による村づくりを進めるため、新たに「住民提案型支援事業」（事業費200万円）を創設**しました。

以上が今年度予算の特徴ですが、昨年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、この法律に基づく各種指標が20年度決算から適用されるため、今年度の予算は非常に重要な意義を持つものであり、村としては、これまで以上に事務事業の見直しをはじめとした行財政改革に取り組んでいきます。